

因島業界動向

2021年10月～12月

(令和3年10月～12月)

因島商工会議所

【因島経済動向調査(DI方式)報告】

(調査の概要)

1. 調査方法 FAX送信によるアンケート調査(景気観測調査の回答使用)
2. 調査内容 ①景況のほか、生産額・売上額など6項目について、令和3年12月の状況と前年同月調査との比較
②同一項目における令和4年1月～3月の先行き見通し
3. 調査時期 12月初旬～下旬
4. 調査対象 51社(製造業：17社 非製造業：34社)
5. 回収状況 回答 37社(製造業：15社 非製造業：22社)
回答率 72.5%

DI：各調査項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準に、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）をあらわす回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）をあらわす回答割合が多いことを示す。

DI = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)

※注 原材料・商品仕入価格：DI = (下降) - (上昇)

製品・商品在庫：DI = (不足) - (過剰)

従業員：DI = (不足) - (過剰)

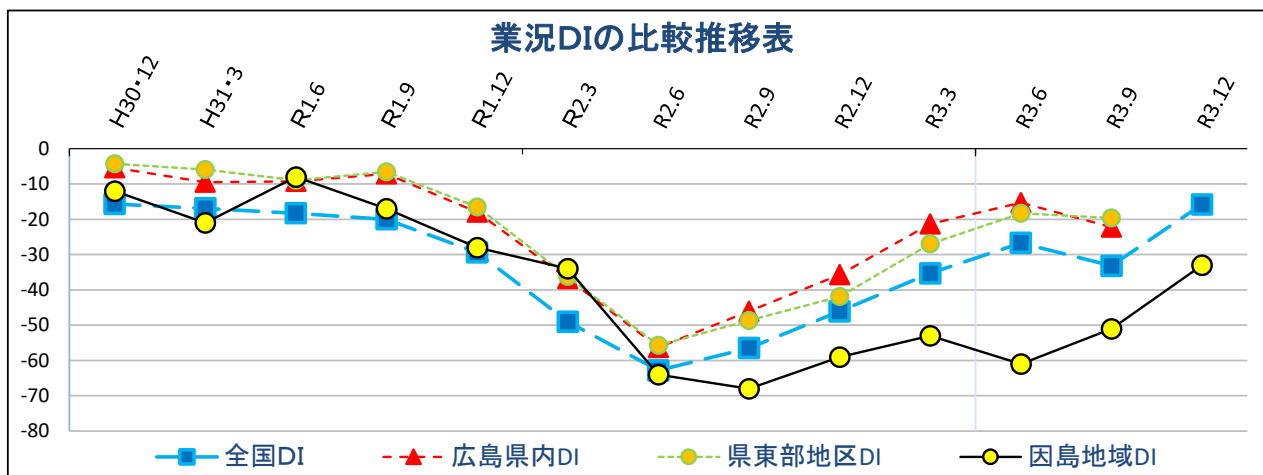
～因島景況の総括 令和3年12月期～

全業種DI（良い－悪い）は、▲33（前回9月調査▲51、R2.12月調査▲59）で前回調査から比較すると18ポイント上昇となった。

製造業では、船舶造修：▲50（前回9月調査▲75）と前回調査比で25ポイント上昇。その他機械金属：0（前回9月調査▲20）で、製造業DIは▲27（前回9月調査▲37、R2.12月調査▲60）と10ポイント上昇となった。

新規受注では不透明な状況が続きながらも、今期は因島地区内でも複数隻の受注を得ている状態である。修繕船は依然各社受注競争が激しい状態で、ドックの空く事業所も存在する等収益の見込みが難しい状態が続いている。

非製造業では、建設業：0（前回9月調査▲25）、卸売業：▲50（前回9月調査▲80）、小売業：▲33（前回9月調査▲67）、運輸・サービス業：▲50（前回9月調査▲71）で、非製造業DIは▲36（前回9月調査▲63、R2.12月調査▲59）で前回調査より27ポイント上昇となった。昨年10月より開始した「やっぱ広島じゃ割」の効果は因島地区でも大きく、旅行代理店が実施した飲食事業者へ向けた施策が景況DI上昇に大きく関与した。



【令和3年12月期 景況DI】

《上段：当月調査分、中断：前回調査分、下段：R2.12月》

	好転	横ばい	悪化	DIポイント
全業種(当月)	8%	51%	41%	▲33.0
(前回)	6%	37%	57%	▲51.0
(前年同月)	3%	35%	62%	▲59.0
製造業(当月)	13%	47%	40%	▲27.0
(前回)	13%	37%	50%	▲37.0
(前年同月)	0%	40%	60%	▲60.0
非製造業(当月)	5%	54%	41%	▲36.0
(前回)	0%	37%	63%	▲63.0
(前年同月)	5%	32%	64%	▲59.0

【令和4年1月～3月の先行き見通し 因島景況】

全業種DI（良い－悪い）は▲33（前回9月調査▲40、R2.12月調査▲59）と前回調査より7ポイント上昇の見通しである。

製造業では、船舶造修:▲25（前回9月調査▲75）と50ポイント上昇。機械金属:+20（前回9月調査20）で、製造業DIは▲20（前回9月調査▲31、R2.12月調査▲46）で、11ポイント上昇の見通し。

商船の海上運賃の上昇により、船主の建造意欲は依然高まってきている。アジア圏で受注の確保が相次いでいる。材類の高騰による船価の上昇は続いているが、採算が取れるまでの船価の上昇を望む声もある。

非製造業では、建設業:0（前回9月調査0）、卸売業:▲67（前回9月調査▲100）、小売業:▲67（前回9月調査▲67）、運輸・サービス業:▲37（前回9月調査▲29）で、非製造業DIは▲40（前回9月調査▲47、R2.12月調査▲68）の見通し。

2022年以降も引き続き厳しい見方をされる事業所が多く見受けられる。しかし、造船関連において修繕船のドック入港が複数隻予定が入っていることから、宿泊事業者では造船事業者の宿泊が多くなる見込みで、好転の見通しも立っている。

【令和4年1月～3月先行き見通し 景況DI】

《上段:当月調査分、中断:前回調査分、下段:R2.12月》

	好転	横ばい	悪化	DIポイント
全業種(当月)	5%	57%	38%	▲33.0
(前回)	6%	48%	46%	▲40.0
(前年同月)	3%	35%	62%	▲59.0
製造業(当月)	7%	66%	27%	▲20.0
(前回)	13%	43%	44%	▲31.0
(前年同月)	7%	40%	53%	▲46.0
非製造業(当月)	5%	50%	45%	▲40.0
(前回)	0%	53%	47%	▲47.0
(前年同月)	0%	32%	68%	▲68.0

～因島生産額・売上の総括 令和3年12月期～

全業種DI（良い－悪い）は▲29（前回9月調査▲57、R2.12月調査▲59）で28ポイント上昇となった。

製造業では船舶造修:▲50（前回9月調査▲75）、機械金属:0（前回9月調査▲40）で、製造業DIは▲20（前回9月調査▲43、R2.12月調査▲54）で23ポイントの上昇となった。自転車・自動車部品の需要は依然高く推移しており、今期も好調を維持している。

非製造業では、建設業:▲40（前回9月調査▲50）、卸売業:▲33（前回9月調査▲40）、小売業:▲33（前回9月調査▲67）、運輸・サービス業:▲38（前回9月調査▲100）で、非製造業DIは▲36（前回9月調査▲68、R2.12月調査▲64）で、前回調査から32ポイント上昇となった。「やっぱ広島じゃ割」の効果は大きく、特に地元の方による利用がDI上昇の要因となった。

【令和3年12月期 売上DI】

《上段:当月調査分、中断:前回調査分、下段:R2.12月》

	好転	横ばい	悪化	DIポイント
全業種(当月)	14%	43%	43%	▲29.0
(前回)	6%	31%	63%	▲57.0
(前年同月)	11%	19%	70%	▲59.0
製造業(当月)	20%	40%	40%	▲20.0
(前回)	13%	31%	56%	▲43.0
(前年同月)	13%	20%	67%	▲54.0
非製造業(当月)	9%	46%	45%	▲36.0
(前回)	0%	32%	68%	▲68.0
(前年同月)	9%	18%	73%	▲64.0

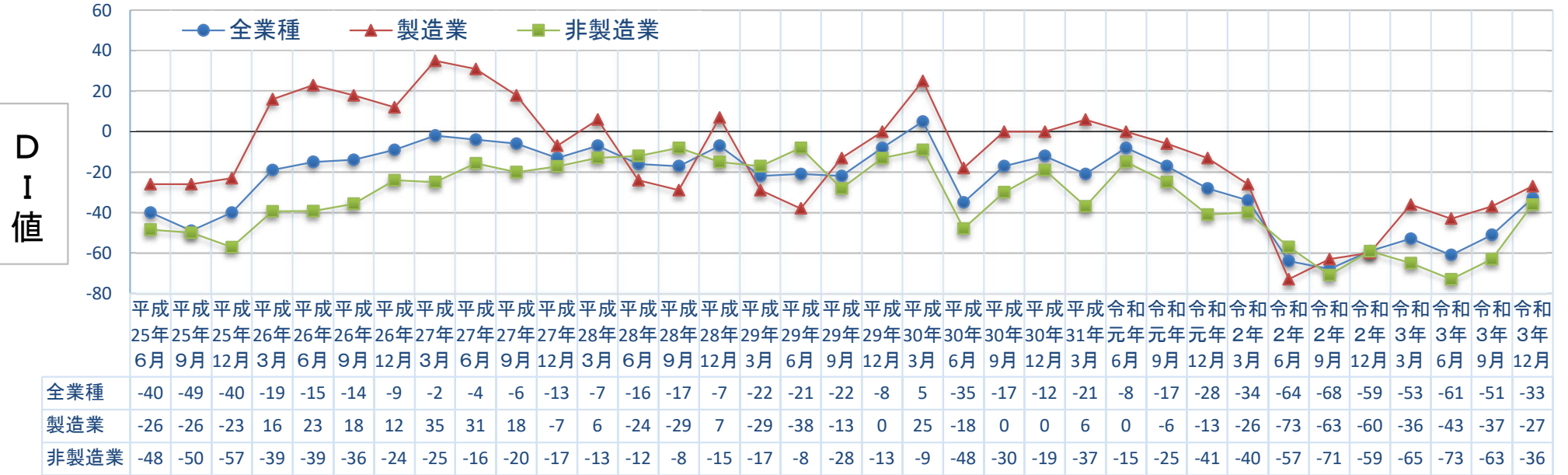
【令和4年1月～3月の先行き見通し 因島売上】

全業種DI（良い－悪い）は▲24（前回9月調査▲35、R2.12月調査▲54）で前回調査から見ると11ポイント上昇の見通しである。

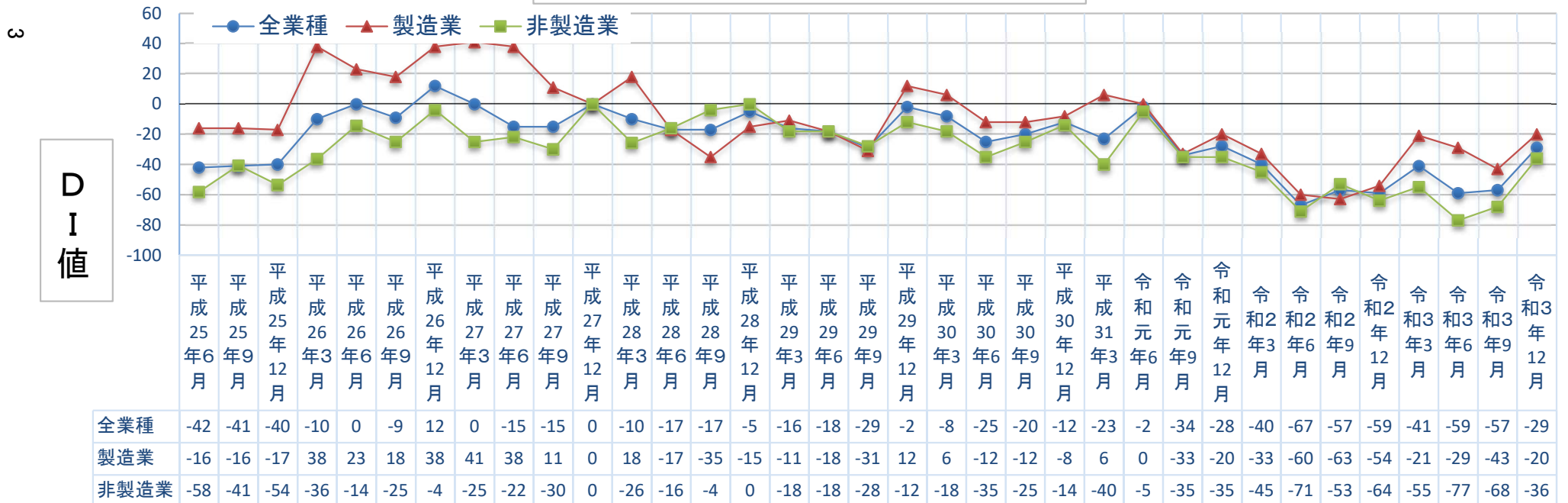
製造業では船舶造修:▲25（前回9月調査▲72）、機械金属:+20（前回9月調査0）で製造業DIは▲7（前回9月調査▲25、R2.12月調査▲34）で前回調査より18ポイント上昇の見通し。

非製造業では、建設業:▲20（前回9月調査▲50）、卸売業:▲50（前回9月調査▲80）、小売業:▲67（前回9月調査▲33）、運輸・サービス業:▲25（前回9月調査▲14）で非製造業DIは▲36（前回9月調査▲42、R2.12月調査▲68）と前回調査より6ポイント上昇の見通し。

因島地域の景況感の推移



因島地域の生産額・売上額の推移



2. 【在因島金融機関取扱い(残高)状況】

(単位:百万円、%)

項目 年月		残 高 合 計					
		預 金	前年同月 比	貸出金	前年同月 比	預貸率	前年同月 差
R2 年 度 末		132,720	107.4%	52,109	109.1%	39.3%	-0.2
R3 年 度	第1 / 四期末	135,987	1	52,413	1	0	-1.7
	第2 / 四期末	135,823	0.0%	51,800	0.0%	38.2%	-1.1
	第3 / 四期末	130,685	105.6%	50,922	106.4%	39.0%	-1.1

地方銀行2行、信用組合1行、計3行の合計。※第3四期末は暫定値

3. 【企業倒産状況】(負債総額1,000万円以上)

(単位:件、百万円)

項目 年月		倒 産 件 数		負 債 総 額		備 考
		件 数	前 年 比 (%)	金 額	前 年 比 (%)	
R2 年 度		0	0.0	0	0.0	年度計
R3 年 度	第1 / 四期末	0	0	0	0	期 計
	第2 / 四期末	0	0.0	0	0.0	〃
	第3 / 四期末	0	0.0	0	0.0	〃

(株東京商工リサーチ広島支社調)

4. 【月間有効求人数・月間求職者数・求人倍率】

(単位:人、倍)

項目 年月		有 効 求 人 数		有 効 求 職 者 数		有 効 求 人 倍 率		備 考
		人 数	前 年 比 (%)	人 数	前 年 比 (%)	倍 率	前 年	
R2 年 度 平 均		2,616	71.3%	2,107	116.5%	1.24	-0.79	
R3 年 度	第1 / 四期	967	102.2%	2,336	120.6%	1.21	-0.30	
	第2 / 四期	1,021	104.1%	2,088	104.0%	1.38	-0.01	
	第3 / 四期	2,578	67.3%	2,121	118.9%	1.22	-0.93	

注:新規学卒者を除き、パートを含む。月平均は四捨五入。(尾道公共職業安定所調)
 ※第3四期は暫定値

5. 【経営改善資金推薦状況】

(単位：件、万)

年 月	項 目	推 薦					決 定			
		件数	前年比 (%)	金 額	前年比 (%)	運 転	設 備	件数	金 額	前年比 (%)
R2 年 度		36	97.3	31,470	83.2	27,110	4,360	34	29,470	81.3
R3 年 度	第1 / 四期末	7	35.0	4,820	26.9	4,420	400	7	4,820	30.3
	第2 / 四期末	5	71.4	4,670	66.6	2,290	2,380	4	4,550	64.9
	第3 / 四期末	4	100.0	5,500	132.5	5,500	0	4	4,120	99.3

(因島商工会議所調)

6. 【因島商工会議所会員数】

(単位：者、社)

区 分	9月30日現在 会 員 数	新規会員数	脱退者数	12月31日現在 会 員 数
法 人	495	0	7	488
個 人	461	1	2	460
合 計	956	1	9	948

7. 【今期のアンケート調査結果】

◆今期のアンケート調査

回答件数 28件

新型コロナウイルスの影響が続く中、【正社員における2021年度（2021年4月～2022年3月）の賃上げ（定期昇給、ベースアップ、手当の新設・増額、一時金（賞与）の増額）の状況】について、「賃金は同水準を維持する」の回答が14社と前年調査時と同様に大多数であったものの、「賃上げを実行した（予定を含む）」に合計9社の回答があり、前々年同期調査時の3社、前年同期実施時の7社を上回る結果となった。

